

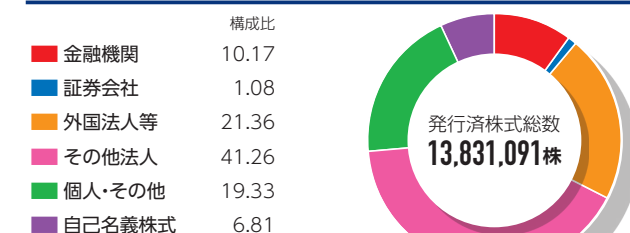
SHAREHOLDERS INFORMATION / SHAREHOLDERS MEMO

株式状況	(2022年3月31日現在)
発行可能株式総数	19,900,000株
発行済株式総数	13,831,091株
株主数	11,363名

大株主(上位10名)	(2022年3月31日現在)	
株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
平澤 創	4,824,938	37.43
RMB JAPAN OPPORTUNITIES FUND, LP.	1,480,810	11.48
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	674,900	5.23
NOMURA CUSTODY NOMINEES LTD-TK1 LIMITED	495,360	3.84
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	414,600	3.21
株式会社第一興商	367,363	2.85
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	272,600	2.11
吉本興業ホールディングス株式会社	206,870	1.60
NCSN-SHOKORO LIMITED	171,840	1.33
TK1 LTD	138,400	1.07

※当社は自己株式を941,738株所有しておりますが、上記大株主から除いております。
 ※持株比率は自己株式(941,738株)を控除して計算しています。
 ※持株比率は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しています。

所有者別分布状況(%)



※発行済株式総数 13,831,091株の構成比率です。
 ※構成比の表示単位未満の端数は、四捨五入して表示しています。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎0120-782-031
公告方法	電子公告 https://www.faith.co.jp/ir/koukoku/ ただし、電子公告による公告をすることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

お知らせ

- 証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会には、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関にお問合わせください。
 なお、三井住友信託銀行株式会社各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行株式会社の本支店でお支払いいたします。
- 配当金の口座振込をご指定の株主様と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受け取りになれる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の添付書類としてご利用いただけます。(株式数比例配分方式を選択された場合の配当金のお振込先につきましては、お取引先の口座管理機関(証券会社等)へお問合わせください。)

免責事項

本報告書に記載されている将来に関する予想については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。実際の業績は、様々な要因の変化により、異なる場合があることをご承知おきください。
 本報告書に記載している会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

ウェブサイトのご案内
 フェイス・グループ各社のサービスや注目のコンテンツ情報、最新トピックス等を掲載しています。
<https://www.faith.co.jp/>

「Thumva®」公式ウェブサイトのご案内
 オンライングループ視聴が可能な新感覚ライブ配信サービス「Thumva®」(サムバ)の情報を掲載しています。
<https://thumva.com/>

株式会社フェイス
 〒604-8171
 京都市中京区烏丸通御池下る虎屋町
 566-1 井門明治安田生命ビル
<https://www.faith.co.jp/>

お問合わせ先 **TEL. 075-213-3933**
FAX. 075-213-3833



Annual Report

2021.4.1 - 2022.3.31

株式会社フェイス | 第30期 営業のご報告

価値観の多様化・複雑化が進む中で 「音楽道」とベンチャー精神を貫き 「音楽流通の変革」に邁進する

特別な体験への期待に応える 未来のエンタテインメントの創造へ

2021年度も年間を通じて行動制限要請が継続する中で、人々の制約のない活動への欲求が強まりました。その一方で、より慎重に吟味を重ね、厳選して選択する行動様式が強まった感触があります。

例えば、日常的に幾度もライブへ出かけるより、数多くの配信を観て、実際にその場に行きたいとの想いが高まった時に満を持して臨む、あるいは頻繁にどこかに旅行に行くのではなく、季節に合わせてよりよい旅先を選んで訪れるなど、嗜好のピークが立った自分なりのスタイルで動く傾向が強まった印象です。こうしたエンタテインメントやイベン

トに求める、それぞれにとっての「豊かな時間」「特別な体験」への期待の高まりは、ウイルスと共存していく状況下において、さらに促されるものと見ています。

そうした中、フェイス・グループでは、その先にある、世界の人たちの人生を豊かに彩る「未来のエンタテインメント」の創造に向け、インタラクティブな動きやリアル体験の充実、新しい音楽流通や制作のあり方に対し多層的な開発・構築を強化しています。

価値の際立ったリアルと 有用なリモートを融合させた ボーダレスな「場」を持つ可能性

時下、盛んに耳にするようになったメタバースは、シムシティやセカンドライ



代表取締役社長
平澤 創

トを代表とするかつての仮想空間や、技術的視点ではAR・VR等々、呼び名を変えながら少しずつ具現化が見えてきた概念です。いずれ実現するものの、それにはもう少し技術的な進歩が必要だと見ています。

確かにコロナ禍で、実感を伴ってインターネットの中で過ごす行動様式があることを気づけたことは、重要な体験になりますが、目的と手段を履き違えた性急な活用には意味がありません。

従来、常識的でなかったリモートワークやライブ配信を自然に受け入れられるようになった結果、リアルの価値が際立ったことを考えれば、すべてを置き換える方向へ推し進めようとするのは本末転倒と言わざるを得ません。

現実世界に生きている以上、私たちは必ずどこかリアルな「場」に存在します。その一方で、同時にバーチャルな「場」での接点が増えた今、リアルとリモートを融合させたボーダレスな「場」を創ること、その未来の価値創造につながる多彩な「場」をいかに設計・実現しながら、どのように世界の今とつながる「場」の可能性を広げていくかの視点を持つことが、重要な意味を示すことになるはずです。

キュレーションの効いた「信頼感」と 溢れる「臨場感」が生む「貴重感」

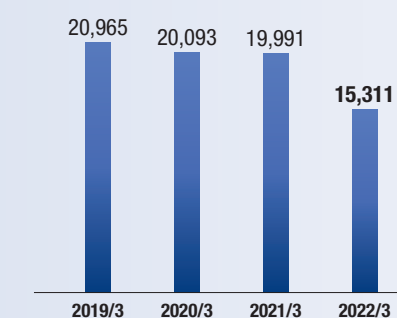
雨後の筍のごとく登場したライブ配信サービスの大多数は、誰もが発信者となれるツールとして広がりを見せました。有象無象に展開されるサービスならではの面白さを楽しむ一方、自らが求めるクオリティに合うコンテンツに安心してリーチできるメディアを求める機運の高まりも感じます。

かつてレコード会社やテレビ局は一定以上のクオリティを担保したコンテンツを独自にセレクトして発信し、結果的にその目利きがブランドとして確立されていました。まさにキュレーション力への信頼です。

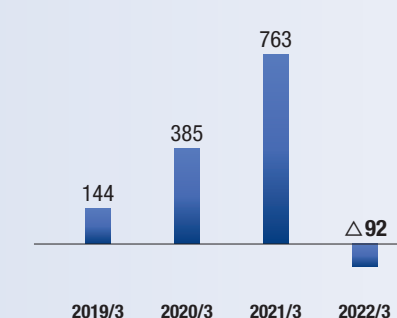
フェイス・グループでは、これまで推進してきた「D2C×キュレーション」の本質的価値に注視した取り組みの一環として、新たにキュレーションの効いたブティック型メディアとリアルな臨場感に身を置く「豊かな時間」「特別な体験」の実現を兼ね備えた、ボーダレスな「場」の創造に着手しています。アーティスト、エキスパートたちによる発信価値とそれを支持する人との関係性を重視した、非常にクオリティの高いコンテンツの集合体として、また、アーティ

連結財務ハイライト

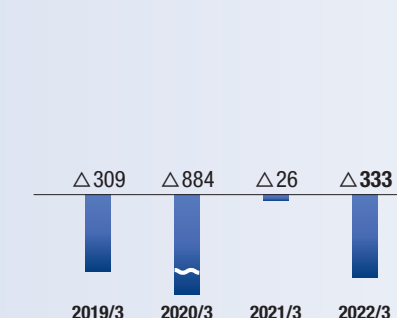
連結売上高 (単位:百万円)



連結営業利益 (単位:百万円)



親会社株主に帰属する 当期純利益 (単位:百万円)



スト価値に軸をおいたサービスとして、支持が広がるものと展望しています。

グループ全体のユニークさ、強みを生かして「音楽道」を追求する

当社は2022年10月に30周年を迎えますが、創業時の想い「音楽流通の変革」は未だ実現には至っておりません。

サブスクリプションモデルが新しい流通の形だとの声もありますが、あくまで音楽業界が作った音楽を流通させる従来型の流通モデルのツールの置き換えであり、私たちが追求する「音楽道」における変革ではありません。



かつての「音楽道」は、いい音楽を作り、ヒットさせることでしたが、その概念自体が今、完全に変わり、過去を「守る道」と「破る道」を見極めるべき、とても重要な時期に差し掛かっていると感じます。そうした場面にあって、音楽そのものを探究しながら、今ある音楽産業とこの先に来たる新たな音楽流通の両方向で推し進められるのは、フェイス・グループが持つユニークさであり、強みです。

また、コロナ禍により、新しい価値観への受容が進み、音楽の楽しみ方の多様化が進んだ一方で、リアルの重要さ、かけがえのなさに気付かされることとなりました。フェイス・グループは、リア

ルとインターネット上、双方の場で新しい展開を模索し、仕組みまでを変容させようとしている稀有な企業体です。実際、リアルが壊滅的な状況になっても、今なお、新しいことに果敢に挑戦し続けられる状況にあるのは、こうした指向に寄るところが大きいと考えており、コロナ禍の3年間は自らが指向する動きを加速させながら、より強靱な事業基盤のあり方を実感する期間だったとも捉えています。

「音楽らしさ」を考え抜き「創造」にこだわる仲間と次代を創るコラボレーションを

またこの間、自律的な働き方の実現と新たな創造のシナジー形成を意図し、南青山オフィスをリニューアルしてグループ会社を一拠点に集結させました。「音楽」と「ないものを創る」への想いを強く持つ各社メンバーが会社の垣根を越え、同じ空間を共有することで、自然発生的に新しいコミュニケーションが生まれる「場」として機能し始めました。さまざまなプロジェクトが立ち上がり、また全社的な取り組みにも自然体で関心が寄せられ、参加する雰囲気生まれつつあります。

著作権や原盤権等に関するメーカーの

知識・知見、職人的に音楽を追求するクリエイター、そして無類の音楽好きのIT技術者が「音楽」を中心に、非常に近い距離感で仕事をし協業しやすいことはフェイス・グループの特徴であり、今後ますます、他のIT企業・エンタテインメント企業にはない、大きな強みになるはずです。

この先は、いかに創業時の想いを具現化していくかが最大のテーマです。そのためには、演奏や配信の機会を増大させるプラットフォームを構築するだけでなく、もう少し「音楽らしさ」を追求した価値創造を考え抜かないとなりません。

価値観が複雑化する中で可能性は限りなく存在し、正解が定まっていない途上ではより多くの挑戦があって然るべきとの想いであり、新しいテクノロジーへの出資も含め、引き続きあらゆる可能性の模索を継続していきます。

そうして若い世代が活躍できるフィールドを作り、これまで挑戦してきた数多くの早すぎた取り組みで得た知見の蓄積に若い力を掛け合わせながら、ベンチャーの気概を貫き、今、世の中にない新たな価値を創り出す挑戦を続けていきます。株主の皆様におかれましては、今後のフェイス・グループの躍進にご期待いただくとともに、引き続きご支援いただけますようよろしくお願いいたします。

森山良子

RYOKO MORIYAMA



コンサートはどの活動よりも「自分らしさ」が表れる場所

年齢を重ねても描いたイメージの歌を届けたい

——19歳でデビューされ55周年。歌い続けてきた日々を振り返り、どんなことを感じていますか？

一日一日の積み重ねでたどりついたものだと感じています。長い時間でしたから、いつでも明るく楽しく過ごしていたわけではなく、切なさ、苦しみ、悲しみといったものを抱きながらステージに立つこともありました。それでも、歌うことによって心が癒やされたり、悲しみを忘れることができたり、励まされたりと、歌に助けられてきた気がします。

また、長く歌手生活を送ってこれたことができたのは、ひとえに客席で応援してくれる方々がいてくださったからです。私に歌を歌わせてくださった、一つひとつの機会に感謝したいと思っています。

——森山さんにとって、歌うことの喜びや楽しさは、どういったところにありますか？

若い頃は歌っていればそれだけで嬉しく楽しかったものでした。今は歌う能力を低下させまいと自分自身と勝負しているような感じもありますが、それもまた楽しく、やりがいになっています。年齢を重ねてもできるだけ変わらず、自分の描いたイメージで歌唱を届けることは、大きな目標になっています。——4月27日(水)にコンサートツアー「～MyStory～」の東京公演(Bunkamuraオーチャードホール)を終えました。久々となる東京でのコンサートはいかがでしたか？

何日も前から、最善のコンディションで臨めるように意識を高く保ち、当日を迎えることができました。緊張感がありましたが悔いのないコンサートになりました。コロナ禍を経て、久しぶりに会場に足を運んでいただいた皆さんからは期待の大きさを感じましたが、それにお応えできたように思います。

コンサートは、自分が歌手として培ってきたものを披露し、それに対するお客さまの反応というかたちで評価が下される場所です。今の自分自身が投影され具現化されるという意味では、どの活動よりも自分らしさというものが表れる場所だと思っています。

朝ドラで好演。役作りのモデルは日系二世の叔母

——歌手以外の活動では、人気を博したNHKの連続テレビ小説「カムカムエヴリバディ」に日系アメリカ人のアニー・ヒラカワ役で出演されました。

素晴らしい作品に出させていただき一生の思い出ができました。作中の言葉には、人生においても大切だと思える言葉が

たくさんありましたので、撮影中はいつも何かしら胸に響くものがありましたね。

私が演じたアニーは日系二世のアメリカ人でしたが、偶然にも私の父も日系二世で23歳までサンフランシスコで生活していました。その妹、つまり叔母が台本に描かれていたアニーのような人で、いつもニコニコと笑いながら元気に仕事していたので、その姿を思い浮かべながら演じさせてもらいました。

また、このドラマは戦争を抜きには語れません。どんなに努力を重ねても、戦争という大きな力で夢が潰れてしまうこともあった時代を生きた人々を偲び、この作品を捧げたいという想いも沸き上がりました。

——戦争のお話がありましたが、世界情勢で見ると、ウクライナに対するロシアによる攻撃が続き、戦争が奪い去るものの大きさを痛感する日々が続いています。

毎日、涙を流しながらニュースを見ています。人間とは平和を目指して進化していくものだと思っていたので、そうではなかったことに悲しみを感じます。

これまでも困難な状況にある方々に歌を届ける機会がありましたので、歌手である私にできることはないかと考えることもあります。ただ、ここまで大きな戦争を目の前にした今は、歌の力で何かを変えられるという思いより無力感のほうが大きいのも事実です。でも、歌が持つ力で苦しんでいる方々に一時的やすらぎを感じていただくことならできるとも思いません。無力であるときらめてしまわず、手を差し伸べ、少しでも苦しみみが和らぐようにできることを考えていきたいと思っています。——これからのキャリアで実現させたいことは？

コロナ禍が去ったら、レコーディングにしっかりと取り組みたいです。今は曲をつくりながら試行錯誤をしている段階ですが、それらのアイデアに2、3年の期間をかけてトライできればと考えています。そして自分のコンディションをきちんと保ち、少しでもいいので自分を向上させていきたい。歌手活動をこれからも続けていくことを一番の目標としながら、皆さんに喜んでいただける音楽を届けていきます。

PROFILE 1967年「この広い野原いっぱい」でデビュー。その後、数々のヒット曲を生み出し、透明感のある歌声と歌唱力で名実ともに日本のトップシンガーに。2002年、第44回日本レコード大賞において最優秀歌唱賞、金賞(さとうきび畑)、作詩賞(涙そうそう)を受賞し3冠を達成。2006年、第48回日本レコード大賞で「涙そうそう」が特別賞を受賞。2016年1月にはデビュー50周年イヤーを迎え、4月には記念アルバム「Touch me...」(4リミューズ)を発売し1年間で100公演を超えるコンサートを行う。また、歌手活動と並行し女優として映画やドラマへの出演、タレントとしてテレビのバラエティ番組への出演、ラジオのパーソナリティーとしての活動なども行っている。

臨時株主総会を南青山オフィスにて開催

2022年2月18日に、臨時株主総会を東京・南青山オフィスにて開催いたしました。新型コロナウイルス感染症拡大の状況を受け、オフィス2階の特設会場エリアでの開催と並行し、ライブ中継の形で配信をいたしました。議案は株主提案である「子会社である日本コロムビア株式会社の普通株式の現物配当（株式分配型スピンオフ）の実施の件」1件で、多くの株主様のご協力とご理解により質疑および採決を行い、株主提案は否決され終了いたしました。ライブ配信での視聴、書面またはインターネットによる事前の議決権行使などにご協力を賜り感謝申し上げます。今後も、当社ならではの株主総会を目指してまいります。



オンライン相談窓口「Thumva BIZ」が 様々な企業に導入

「Thumva®(サムバ)」のリソースを活用した新たな店舗向けサービスとして、Web上で問合わせや相談を希望する顧客に対し、ワンクリックで商談が開始できるオンラインサービス「Thumva BIZ(サムバビズ)」は、デジタルトランスフォーメーション時代に即したオンラインでの店舗様式を提案し、様々な業種の企業に導入いただいております。2021年9月には株式会社日本旅行とサービスの販売に関する業務提携を行い、2022年2月には株式会社エイチ・アイ・エスへの提供を開始。「Thumva BIZ」は対面接客業を中心に、様々な分野における新たな店舗DXサービスとして、今後も販路の拡大を目指してまいります。

NEW RELEASE 新作紹介

玉置浩二が映画『大河への道』主題歌をリリース

立川志の輔の新作落語が原作の映画『大河への道』は、中井貴一、松山ケンイチ、北川景子ら豪華キャストの一人二役で贈る“歴史発見”エンタテインメント。笑いと感動に満ちた美しい映画のストーリーと、いつまでも心の中に生き続ける人を想う自身の気持ちを重ね合わせて書き下ろした、玉置浩二渾身の1曲。

玉置浩二『星路(みち)』

2022年5月18日発売 / 【CD】1,350円(税込)



世良公則が朝ドラで話題のジャズ名曲を配信

NHK連続テレビ小説『カムカムエヴリバディ』で、世良公則演じるジャズバーのマスターが熱唱した、ジャズの名曲『オン・ザ・サニー・サイド・オブ・ザ・ストリート』。公式YouTubeで100万回再生を超えるなど話題となり、シングル曲として急遽リリース。世良初となる感動必至のジャズナンバー。

世良公則『オン・ザ・サニー・サイド・オブ・ザ・ストリート』

2022年3月30日発売 / 【デジタル配信】

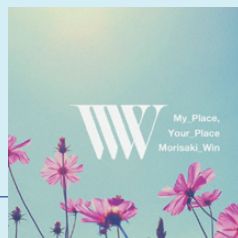


MORISAKI WIN待望の6thシングル

アジアから世界へ発信するエンターテイナーMORISAKI WINが、待望の6thシングルをリリース。TWICE, Stray Kids, ENHYPENなどに提供実績のある海外作家を起用し、ハイトーンを生かした最高に甘いラブバラードが完成。恋するすべての方に聞いていただきたい2022年を象徴するシングル曲。

MORISAKI WIN『My Place, Your Place』

2022年5月2日発売 / 【デジタル配信】



『暴太郎戦隊ドンブラザーズ』の挿入歌を収録

スーパー戦隊シリーズ第46作目として、テレビ朝日系にて放送中の『暴太郎戦隊ドンブラザーズ』の挿入歌を収録したEPが発売。大西洋洋「A Battle World」、MORISAKI WIN『俺こそオンリーワン』を含む全6曲。和泉風花が演じた作中アイドル吉良きららが歌う『キララ・スマイル』の配信もスタート。

『暴太郎戦隊ドンブラザーズ EP vol.1』

2022年5月25日発売 / 【CD】1,980円(税込) 【デジタル配信】

『キララ・スマイル』

2022年5月22日発売 / 【デジタル配信】



© テレビ朝日・東映AG・東映

会社概要

株式会社フェイス

(2022年3月31日現在)

事業内容 コンテンツ配信プラットフォームの開発
およびビジネスモデルの構築

設立 1992年10月9日

資本金 32億1,800万円

上場取引所 東証プライム市場(証券コード4295)

従業員数 101名(連結442名)

取締役および監査役 (2022年6月24日現在)

代表取締役社長 平澤 創

取締役副社長 吉田 眞市

専務取締役 中西 正人

取締役 鈴木 千佳代

社外取締役 別所 哲也

社外取締役 正宗 エリザベス

社外取締役 水戸 重之

社外取締役 瀧口 匡

常勤監査役 長吉 晋

社外監査役 清水 章

社外監査役 菅谷 貴子

アドバイザー・ボードを構成する社外有識者

(2022年4月1日現在)

島田 精一 元日本ユニシス株式会社 代表取締役社長 / 株式会社お金のデザイン 社外監査役 / 熊澤合同事務所 顧問 / 株式会社 ISE 最高顧問 / 学校法人津田塾大学 理事長 / 国立大学法人千葉大学 経営協議会委員・学長選考会委員 / 学校法人根津育英会武蔵学園 評議員 / 武蔵学園後援会 会長 / 内閣官房 産業適正に関する有識者会議 委員 / 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団 評議員 / 一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト 特別顧問 / 公益財団法人日伊協会 会長 / 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団 評議員 / 日本ヴェルディ協会 理事 /

大八木 成男 帝人株式会社 相談役 / 株式会社みどり会 非常勤取締役 / JFEホールディングス株式会社 社外監査役 / 公益財団法人日本生産性本部 理事 / 経団連 日タイ貿易経済委員会 委員長 / KDDI株式会社 社外取締役 / 株式会社三菱UFJ銀行 取締役監査等委員 / 東京電力ホールディングス株式会社 社外取締役 / アサヒグループホールディングス株式会社 社外監査役 /

堀 裕 堀総合法律事務所 代表弁護士 / 日本ローエイシア友好協会 常務理事 / 前内閣府 公益認定等委員会 委員 / みずほグループ各社 顧問弁護士 / 株式会社パソナグループ 特別顧問 / フィデアホールディングス株式会社 社外取締役 / JUKI株式会社 社外取締役 / 在日ロイヤル・ダッチ・シェルグループ各社 監査役 / 国立大学法人千葉大学 理事・副学長、経営協議会委員 / サハリンLNGサービス株式会社 監査役 / 公益財団法人国連大学協力会 監事 / 公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構 理事 / 公益財団法人沢沢栄一記念財団 理事 / 日本郵政グループ各社 顧問弁護士 /

フェイス・グループ

コンテンツをユーザーに届けるためのあらゆる機能を有し、ワンストップサービスとしてプラットフォーム化できる企業グループです。



※本文書に記載されている商品・サービス名は株式会社フェイスの日本またはその他の国における商標または登録商標です。